

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

| | |
|-------------------------|--|
| 試料・情報の利用目的及び利用方法 | 研究の名称 H. pylori 感染と炎症性腸疾患との関連に対する後ろ向き観察研究 |
| | 研究の対象 2013年1月から2026年12月までに、当院にて炎症性腸疾患に対して加療中の患者さんで、ヘリコバクターピロリ菌（以下「HP」）への感染が確認された方。 |
| | 研究の目的 2013年にHP感染胃炎に対し、除菌治療が保険適応となり、HP現感染患者は減少をつづけております。一方、炎症性腸疾患（以下「IBD」）の罹患者数は年々増加しております。HPに感染すると、その感染は生涯において持続することが多く、胃粘膜の慢性炎症を背景として消化管以外の疾患との関連も指摘されています。 HP感染とIBDは負の相関関係があり、HP感染がIBDの発症リスクを低下させる可能性があるとの報告があります。しかしHP除菌治療がIBDの発症や再燃のリスクになるかは、はっきりしておりません。このため、HP感染および除菌治療とIBDとの関連性について検討することにより、今後の治療につなげることが出来る可能性があると考え、今回の研究を立案しました。 |
| | 研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2026年12月まで。 |
| | 他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。 |
| 利用し、又 | 研究に使用する試料・情報 |

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

| | |
|---|---|
| <p>は提供する試料・情報の項目</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、家族歴、生活歴、服薬状況 ・ 身体所見：身長、体重、脈拍、体温 ・ 臨床検査：血液学的検査(白血球数、ヘモグロビン値、血小板数)、生化学検査(AST、ALT、ALP、γ-GT、LD、TP、Alb、BUN、Cre、フェリチン、総鉄結合能、不飽和鉄結合能、CRP、血沈) ・ 有害事象 <p>上記等をカルテの情報から調べます。</p> |
| <p>利用する者の範囲</p> | <p>機関名および責任者名 浜松医科大学 第一内科 助教 山出美穂子</p> |
| <p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p> | <p>浜松医科大学 第一内科 助教 山出美穂子</p> |
| <p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p> | <p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p> |
| <p>資料の入手または閲覧</p> | <p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p> |
| <p>情報の開示</p> | <p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合</p> |

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

| | |
|--------|---|
| | は、原則的に結果を開示いたしません。 |
| 問い合わせ先 | 〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 浜松医科大学医学部附属病院 診療科： 第一内科 担当者： 高橋 悟 TEL： 053-435-2261 E-mail： 41235353@hama-med.ac.jp |